

組合 Q & A

組合員同士は不仲でもよい

組合員同士は競争相手、ライバルだから、仲が良くない者もいる。仲がよくなないと組合はうまくいかないか

組合には、いくつかの誤解があります。設問のケースはその一つを突いています。

一 組合員は仲良くなければならないか？

組合員の仲が悪くても共同事業はできます。組合の事業には、組合員同士をビジネス・パートナーとするタイプと、組合員を組合の顧客とするタイプの事業があります。組合員を顧客とする事業は、組合員の仲の良し悪しは事業の結果に影響しないので、仲が悪くても問題はありません。生協のスーパーで買い物をする組合員同士はまったく知らない人もいます。中小企業組合の共同購買等でも同じことです。

共同購買のような事業では、組合員は不仲でも共通の利益を追う

ことができます。

しかし、ビジネス・パートナーとして一緒に外に向かって仕事をする場合は仲がよくなければ事業はうまくいきません。

組合が新製品の開発に成功して、生産・販売を検討し始めたところ、某大手企業がその権利を数億円で購入に来たという事例があります。それほどすばらしい開発でした。組合は悩んだ末に自分たちで生産する道を選びました。

その後の話を聞いていませんが、高く売れるときに売って、仲良く次の開発テーマに移ったほうがよかったのではないかと思っっています。

二 組合は組合員のために事業をするものか？

組合は、組合員のために事業をする、これは組合の常識ですが、誤解でもありません。

事業によっては、組合員を泣かせてでも、その先のユーザーのことを考えなければならぬ事業があります。共同受注事業はその典型です。共同店舗なども組合員よりも来店者のことを第一に考えなければいけません。

一人一票の組合で、一部の組合

員を泣かせて事業をやるかどうか、組合が抱える極めて難しい問題です。

三 組合員は組合の事業を利用するものか？

組合員には組合の事業を利用してもらいたいものです。しかし、組合員は組合の事業が高い、不便、悪い、ものであればその事業を利用しなくなります。利用しない理由を語ることなく、黙ってそっぽを向きます。

「利用しないなら総会で事業計画・収支予算を審議したときに意見を言ってくれ。意見を言わないなら賛成したのだから利用してくれ」と言いたい気持ちになります。が、組合員は黙ってそっぽを向くものです。

ポイント

★組合員が顧客の場合は不仲でもよい

中小企業組合理事のための Q & A

清水透著・2010年5月25日（新訂）
第1版第1刷発行より転載。

● ご購入のお申込み等、図書について
の詳細は全国中小企業団体中央会のホームページをご参照下さい。（トップページ▽中央会の出版刊行物）

組合士検定にチャレンジ!!

Q. 組合制度に関する正誤問題です。

【第1問】 組合員は、持分を共有することはできないが、組合は、組合員の持分を取得することができる。

【第2問】 都合により理事会に出席できない理事は、代理人により議決権を行使することができる。

【第3問】 役員選挙は、定款に指名推選の方法によって行う旨の定めがあれば、総会出席者の多数決により、指名推選の方法により選挙することができる。

【第4問】 非出資の商工組合の組合員は、30日前までに予告して組合を脱退することができる。又、この予告期間は90日以内ならば定款で延長することができる。

《解答》

- 【第1問】 ×
- 【第2問】 ×
- 【第3問】 ×
- 【第4問】 ○